

学校法人 寶城学園

理事長 浅沼 成之 様

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和6年3月

学校法人 寶城学園 学校関係者評価委員会

令和5年度の学校関係者評価は、教員の自己評価・自己点検の結果報告後、翌年度にかけて取り纏めを行った。去る令和5年5月27日に第1回目、翌年3月20日に第2回目の評価委員会を開催し、令和5年度の学校評価について取りまとめを行った。

教員の自己評価報告を踏まえ、本評価報告書を取り纏め、3月29日に設置者へ報告を致します。

令和6年3月

学校関係者評価委員会
委員長 栗原 正晴

1. 学校評価委員会の構成

※ ◎は委員長

選任区分	氏名	任期
民生児童委員	◎ 桑原 正晴	R4.4.1～R8.3.31
元教育関係者	松村 剛	R4.4.1～R8.3.31
卒園児父母	山崎 剛	R4.4.1～R8.3.31
元PTA会長	小柳 典央	R4.4.1～R8.3.31
元PTA会長	横山 浩章	R4.4.1～R8.3.31

2. 委員会の開催状況

第一回目 日時 令和5年5月27日(土) 午前10時00分より
場所 宗教法人海蔵寺 庫裡
参加 6名(理事長含む)
内容 設置者への学校評価の結果報告、財務状況の説明燈

第二回目 日時 令和6年3月20日(土) 午前10時00分より
場所 学校法人寶城学園 北館職員室
参加 6名(理事長含む)
内容 令和5年度学校評価取り纏め、幼稚園の近況報告
令和6年度事業計画、収支予算(案)の報告等

第三回目 日時 令和6年3月29日(土) 午後2時00分より
場所 学校法人寶城学園 理事長室

参加 2名（理事長含む）

内容 令和5年度の学校評価の設置屋へ報告

令和5年度の教育活動に対する学校評価

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の項目	判定	意見・評価	判定
教育目標	園目標は地域の特色を生し、前年度の反省を踏まえ、職員全員共通理解をしているか	A	引続き全職員年間目標を共有すること。	A
指導	指導計画が幼児の実態に則し、教材・教具を適切に活用し、指導の改善に努めているか	B	多様化する園への要望の中、一人ひとりを大切にした指導を評価する。	A
教育計画	行事の種類や回数に配慮し、ねらいを教育計画に生かし、実践的な活動にしているか	B	もう一段高い教育計画の策定とそれに伴う保育の提供を期待する。	B
情報	個人情報管理と公文書の收受、発送と処理、各表簿の適正な作成と管理をしているか	B	園長の管指導の下、適切に処理され、個人情報の漏洩等は確認されず良好である。	A
施設・設備	園舎・園地の安全管理と遊具・教具等の適正な保管と不審者等の対策は万全か	A	北館職員室他の改修工事は、職員の業務改善と作業の効率化に資すると感じた。	A
保幼小等の連携	他校種との交流計画や指導者同士の合同研修等の場を設けお互いに情報交換を行い、教育に対する理解を深めているか	B	近隣小学校児童と交流の報告があったが、機会を増やすように期待したい。	B
分掌・運営	職員の配置や仕事の分担・割り当てが適切か。各種会議は効率よく進めているか	B	少しずつ改善が見られる部分は評価するが、引続き効率的な改善を進めるよう期待する。	B
クラス経営	目標は幼児の実態に則し、学年、学級目標のねらいは適切か評価・資料を集積しているか	A	支援が必要な在籍児や保護者対応等、職員の対応を大きく評価したい。	A

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の内容	判定	意見・評価	判定
保健指導と安全指導	避難訓練、交通安全指導は、計画に基づき実施され、健康や安全に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか。関係機関との連携はとれているか	A	給食委員会を中心に、安心安全な給食の提供と、アレルギー研修等を園内で実施し、昨年度の事故からの改善策が見られた。	A
研究・研修	研究主題は、教育目標の具現化につながり、研修の計画、運営は適切で、研修への参加体制の充実と研修結果の還元に努めているか	A	園内での研修会が開催できたことは評価したい。次年度も資質の向上に努めていただきたい。	A
子育て支援	地域の子育て支援センターの役割と、実態を捉えた預かり保育の実施に努めているか	B	預かり保育を担当する職員の負担について報告があった。改善に努めてもらいたい。	A
情報の発信	学年だよりやホームページを活用して、園の情報を外部へ発信できているか	A	学年だよりを通じて保護者へ伝える工夫が見られた。また、一斉メールを活用した連絡の周知も効果的だと感じた。	A

・上記の自己評価、学校関係者評価を経て、下記の点を令和6年度への課題として挙げます。

- 令和5年度は、新型コロナウイルス対策の制限も解かれ、年間行事もコロナ禍前に戻して実施することが出来た。まだまだ感染への不安が残るが、実施内容を工夫することで、ほぼ通常期に戻した園生活を楽しめたと思う。行事の実施の有無に対する保護者からの様々な意見があり、一人ひとりに適した対応をとる難しさを自己評価書等から読み取ることが出来た。今後も園内で共通した対応や理解を持ち、アフターコロナを見据えた取組みに期待したい。
- 職員会議の持ち方は、回数を減らし効率的に開催出来ていると感じた。引き続き効率の良い会議運営に努めてもらいたい。
- 新型コロナウイルスの制限が解除されたことで、園内外の研修へ積極的に参加をする

ことで、職員個々の資質向上と、園全体のレベルを上げていく努力を期待したい。

- 北館職員室他の改修工事は、職員の労働環境の改善と業務効率の向上につながったと感じた。
- 令和4年度給食提供時の事故を踏まえ、業務委託先を変更し基本に立ち返り給食提供が行われていると感じた。また、同じ過ちを繰り返さないため、給食委員会を立ち上げ、安心、安全の給食提供と、職員間での食に対する意識の持ち方や取組みの改善につながっていると感じた。引き続き美味しく安心できる給食提供に努めてもらいたい。

令和5度も、職員全員で創意工夫を凝らし、質の高い保育を提供することが出来ていたと感じた。前年度より改善がみられた項目は、現状より一段高いレベルを目指し、評価が低いまたは改善有れていない項目は、全職員で原因や方法を見直し、少しでも改善がなされる努力を期待したい。全体を通じて一年間取組んできたことに、評価委員一同高く評価をしたい。次年度も建学の精神を軸に据え、教育目標の達成に向け職員一人ひとりが高く意識を持ち、一年間安全で充実した保育になるよう期待して、令和5年度の学校評価とする。

以上のとおり報告致します。

令和6年3月29日

学校法人 寶城学園 学校関係者評価委員会

委員長 葉原正晴